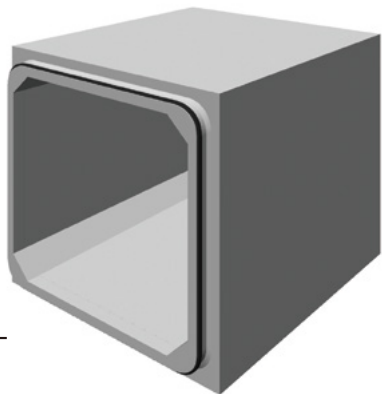


FUJI COLLECTION

[水路シリーズ]

ボックスカルバート

S Jボックス



特長

1. 継手にゴム輪を用いるため、柔軟な構造の管路が構築されます。
2. 可とう性があるため、レベル2地震動における要求性能を満たすことができます。
3. -5~+35mm（1800mm以上は -5~+50mm）優れた抜け出し性能を発揮します。
4. 0.06MPaの止水性を挿し込むだけで確保できます。
5. ゴムリング1本で止水・耐震性能を有するため、製品を接合するだけですぐに、埋戻しができ、施工性に優れています。

実績



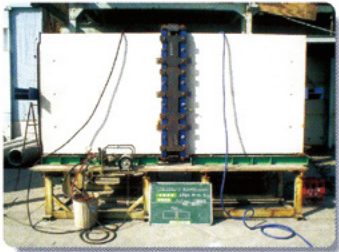
樋管での使用

止水試験

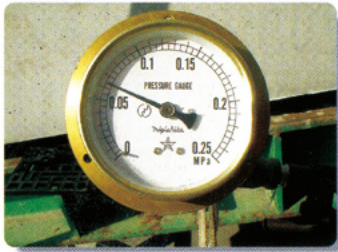
水平変位 抜け出し35mm

試験水圧 ▶ 0.06MPa 3分間保持 | 結 果 ▶ 異常なし

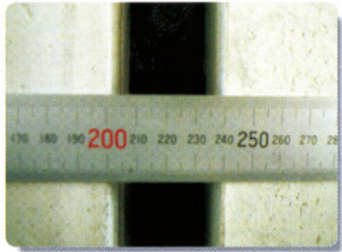
実験状況（抜け出し35mm）



水圧 0.06MPa



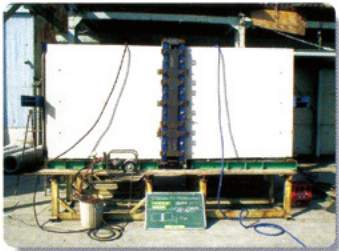
目地開き（40mm）



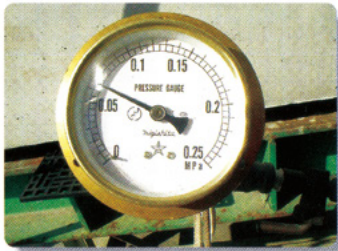
屈曲変位 1.0°

試験水圧 ▶ 0.06MPa 3分間保持 | 結 果 ▶ 異常なし

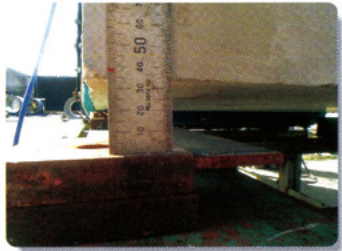
実験状況（曲げ角度1.0°）



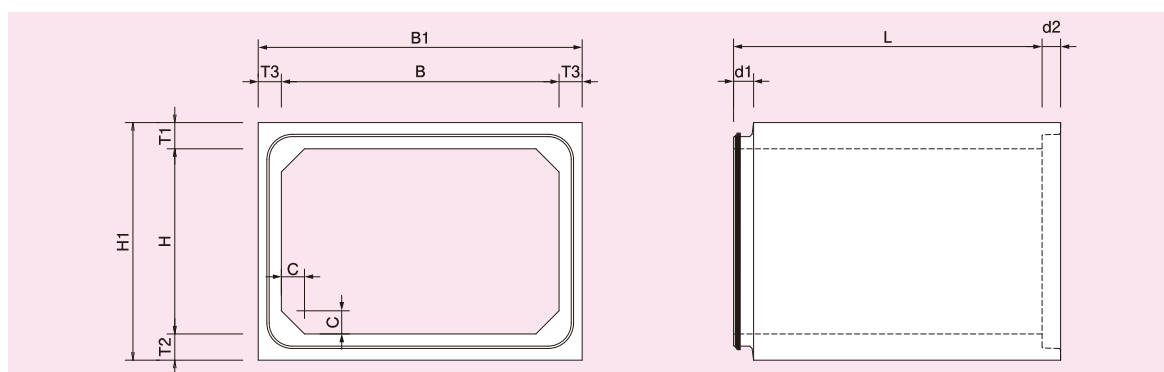
水圧 0.06MPa



傾き 35mm



寸法図



寸法表

呼び名 (B×H)	寸 法 (mm)											参考重量 (kg)
	B	B1	H	H1	L	T1	T2	T3	C	d1	d2	
600 × 600	600	860	600	860	2000	130	130	130	100	100	100	2000
700 × 700	700	960	700	960	2000	130	130	130	100	100	100	2260
800 × 800	800	1060	800	1060	2000	130	130	130	100	100	100	2520
900 × 600	900	1160	600	860	2000	130	130	130	100	100	100	2390
× 900			900	1160								2780
1000 × 800	1000	1260	800	1060	2000	130	130	130	150	100	100	2900
× 1000			1000	1260								3160
× 1500			1500	1760								3810
1100 × 1100	1100	1360	1100	1360	2000	130	130	130	150	100	100	3420
1200 × 800	1200	1460	800	1060	2000	130	130	130	150	100	100	3160
× 1000			1000	1260								3420
× 1200			1200	1460								3680
× 1500			1500	1760								4070
1300 × 1300	1300	1560	1300	1580	2000	140	140	130	150	100	100	4100
1400 × 1400	1400	1660	1400	1700	2000	150	150	130	150	100	100	4540
1500 × 1000	1500	1780	1000	1320	2000	160	160	140	150	100	100	4470
× 1200			1200	1520								4750
× 1500			1500	1820								5170
1800 × 1200	1800	2100	1200	1540	2000	170	170	150	150	120	120	5600
× 1500			1500	1840								6050
× 1800			1800	2140								6500
2000 × 1500	2000	2320	1500	1860	2000	180	180	160	200	120	120	6980
× 1800			1800	2160								7460
× 2000			2000	2360								7780
2200 × 1800	2200	2560	1800	2200	1500	200	200	180	200	120	120	6570
× 2200			2200	2600								7110
2300 × 1500	2300	2660	1500	1900	1500	200	200	180	200	120	120	6320
× 1800			1800	2200								6720
× 2000			2000	2400								6990
× 2300			2300	2700								7400
2400 × 2000			2400	2820								8100
× 2400	2400	2780	2400	2820	1500	210	210	190	200	120	120	8100
2500 × 1500	2500	2900	1500	1940	1500	220	220	200	200	120	120	7340
× 1800			1800	2240								7790
× 2000			2000	2440								8090
× 2500			2500	2940								8840
2800 × 1500			1500	1980	1000	240	240	220	200	120	120	5740
× 2000	2800	3240	2000	2480								6290
× 2500			2500	2980								6840
× 2800			2800	3280								7170
3000 × 1500			1500	2020	1000	260	260	240	300	120	120	6770
× 2000	3000	3480	2000	2520								7370
× 2500			2500	3020								7970
× 3000			3000	3520								8570

(注) 樋管で使用する場合は、上記の寸法表と異なります。

FUJI COLLECTION
[水路シリーズ]
ボックスカルバート

S Jボックス

継手構造



受口側



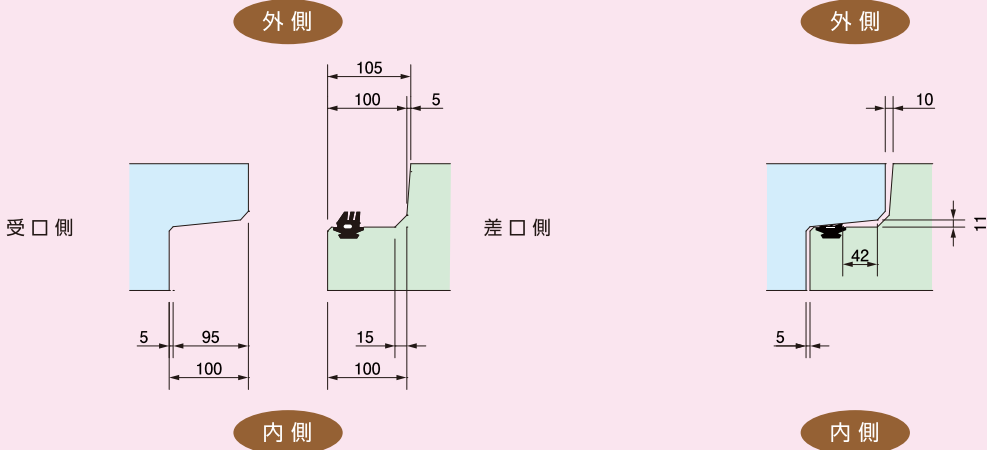
差口側



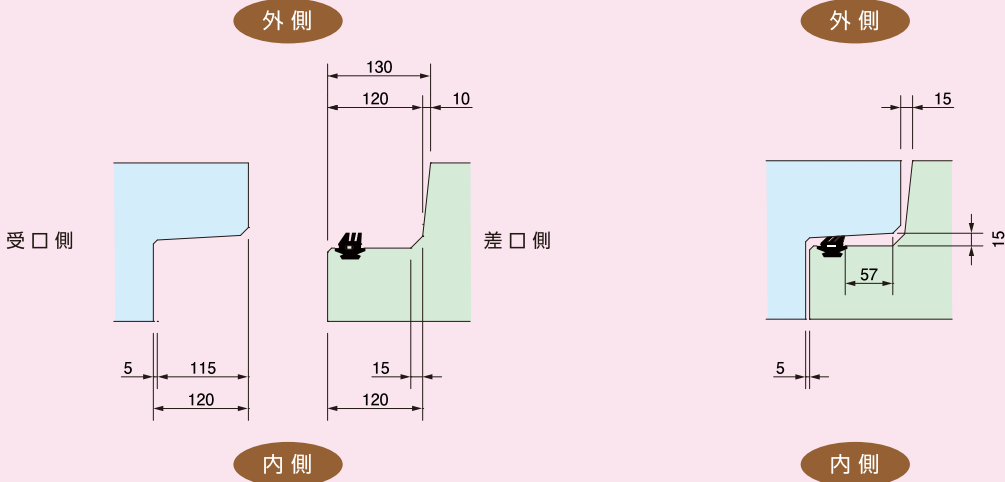
埋込ゴム

寸法図

1⁰⁰-15⁰⁰型(6⁰⁰×6⁰⁰~15⁰⁰×15⁰⁰)



12⁰⁰-2⁰⁰⁰型(18⁰⁰×15⁰⁰~3⁰⁰⁰×3⁰⁰⁰)



拔出し性能

製品内幅	レベル2地震動における要求性能			SJボックス	
	製品長	屈曲角	拔出し量	屈曲角	拔出し量
600 ~ 1500mm	2000mm	0.24度	30mm	1.0 ~ 2.0度	-5 ~ +35mm
1800 ~ 3000mm	2000mm	0.24度	30mm	0.8 ~ 1.3度	-5 ~ +50mm

参考
歩掛表

SJボックス

製品長 L=2000

(10m当り)

名称		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
歩掛り区		人	人	人	日	%	%	%
①	0<B≤1250 0<H≤1250	0.5	0.3	1.1	0.3	32.0	59.0	11.0
②	1250<B≤2500 0<H≤1250	0.8	0.4	1.6	0.4	41	97	
③	0<B≤1250 1250<H≤2500					29	61	
④	1250<B≤2500 1250<H≤2500	1.0	0.6	2.1	0.5	33.0	79.0	
⑤	2500<B≤3750 1250<H≤2500	1.1	0.8	2.6	0.7	37.0	94.0	
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	1.3	1.0	3.1	0.9	31.0	76.0	

製品長 L=1500

(10m当り)

名称		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
歩掛り区		人	人	人	日	%	%	%
②	1250<B≤2500 0<H≤1250	1.0	0.7	2.2	0.4	32.0	75.0	7.0
④	1250<B≤2500 1250<H≤2500	1.4	0.9	2.9	0.5	25.0	61.0	
⑤	2500<B≤3750 1250<H≤2500	2.2	1.4	4.5	0.8	26.0	68.0	
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	3.2	2.0	6.7	1.1	16.0	44.0	
⑦	3750<B≤5000 1250<H≤2500	4.3	2.7	8.7	1.5	21.0	32.0	

製品長 L=1000

(10m当り)

名称		土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	ホイールクレーン	基礎砕石費	均しコンクリート費	諸雑費
歩掛り区		人	人	人	日	%	%	%
⑤	2500<B≤3750 1250<H≤2500	2.8	1.7	5.8	1.3	20.0	51.0	6.0
⑥	2500<B≤3750 2500<H≤3000	4.0	2.6	9.3	1.9	14.0	33.0	
⑦	3750<B≤5000 1250<H≤2500	6.1	3.6	12.8	2.6	15.0	23.0	

SJボックス クレーン規格

規格	規格
内空高、内空幅:2.5m以下	ラフテレーンクレーン25t吊り
上記以外の区分範囲	ラフテレーンクレーン45t吊り

- ・工業会歩掛より
- ・基礎砕石費・均しコンクリート費・諸雑費は、労務費とクレーン運転費の合計に乘じた金額を計上して下さい。
- ・工事歩掛要覧に掲載されていないサイズについては、全国ボックスカルバート協会歩掛りを引用しています。

- 歩掛りは、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。
- 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。
- ホイールクレーンは賃料とし、内空高2.5m以下は25t吊、内空高2.5m超は45t吊とする。
- 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用する。
- 諸雑費は労務費とホイールクレーン運転費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
ただし、諸雑費として計上する金額は、上限値とする。
[諸雑費] レバーブロック等の損料、敷モルタル等の材料費
- 基礎砕石の敷均し厚は25cm以下を基準としており、これより難しい場合は別途計上とする。
- 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できる。
- 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布及びクレーン作業を含む。

